臨床検査技術学科評価表（２０２２年度）

１．学校(学科)の教育目標

（１）国家試験について

第69回国家試験の新卒者合格率は88.5%、全国平均（76.5%）より若干上回り、昨年（78.6%）より合格率は向上した。今回の結果は、68回における合格率の低下を踏まえ、学生の進級や卒業への基準について、特に学内国試対策試験の結果が合格ライン前後の学生への指導に注力する事により、向上したものと思われる。合格者内訳では、留年経験者を除いた合格率は100%であった。

今後も、教員一同、国家試験対策については、毎年の学生状況に注視しながら指導し、全員合格を目標とする。具体的な対策として、学生の国試対策への意識レベルを早めに高めるために、国家試験直後の学生アンケート、「在校生に向けてのアドバイス」をC-ラーニング上に掲載し、早めの国家試験準備に関するアドバイスを閲覧させて意識レベル向上を目指す。また、春休み期間中に主要7科目の問題資料をCラーニングにより課題として送り、新年度にその内容についてテストを行う事で、学生個人の学習の現状を客観的に判断し、個々の指導に活かすことも併せて取り組む

（２）就職・進学に関して

学生の希望に添った就職、進学ができるように、就職担当教員が入試キャリア支援室と連携しながら支援体制を強化する。特に、１年生からキャリア支援室のスタッフを含め、コミュニケーション学、キャリアデザイン学や文書表現学を学び、特に、就職に対する意識が低い学生の存在も考慮に入れた指導に取り組む。また、常時就活希望の学生へも就職相談等を積極的に行う。

（３）ドロップアウト者について

中途退学者はできるだけ少なくするように、各学年の担任教員を中心に、教員一丸となって努力したが３年生は３名、２年生は10名、１年生は14名であった。退学理由の内訳は体調不良になどの原因が10名、進路変更が2名、学力不足が15名であった。また、1年生に復学者1名。体調不良による学生は程度の違いはあるが主に心身疾患によるものであった。カウンセリング等を利用しているが長期経過観察中での退学が中心であった。学力不足については、入試との関連性も推定できるが、引き続き退学者を減らす努力をする必要がある。

（４）ＦＤ について

臨床検査技師会による医学検査学会や各種専門医学会に積極的に参加し専門分野の研鑽を行い学生に、より良い情報の伝達に努める。各種研修会などへの積極的な参加を行う。さらに、臨床検査学教育学会での研究発表も積極的に行っていく。

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

（１）財務体質の安定化

①効率的な人材配置

教育の質の低下や教員の労働過多を引き起こさないように配慮しながら、効率的な人材配置を行う。

②経費削減

学科全体として無駄を省き、経費削減を図っていく。また検査試薬等の相見積もりを行い、発注先の見直し経費削減に努める。

（２）組織構造の改善

①組織構造の改善

学園内でのコンプライアンスの徹底、教員の意識改革の向上を目指し、報連相の徹底を周知する。

社会情勢や学生の多様化に対応し、現状に即した組織構造の改善を行う。今年度は教員による朝ミーティングを実施し、当日の授業内容や講師等の把握を行い、授業前の在校生への対応や情報共有が出来る体制を推し進める。

②情報の共有化

組織内での情報共有を強化し、相互理解を深める。特に各学年担任と教科担当者との交流をしっかり行い、原則、週一度開催される学科会議でも話し合って学生指導をきめ細かく行う。

③新型コロナウイルス対応

今年度も手洗い・アルコール消毒。マスク着用の完全実施。教室内の換気に充分注意し学生に対し感染防止対策を行う。登校時の体温・アルコール消毒等は継続して行う。

（３）国家試験合格率

国家試験合格率を高水準に保つことが学生数の確保に直接つながることから、最優先事項として対応する病院実習終了後、９月より毎日朝テストを実施、当日授業終了後、解説と類似問題を行う。卒業発表後、国家試験対策補習を２月２日から重点的に行い専任及び厳選した非常勤講師による的確な模擬試験を国家試験まで継続する。特に模擬試験結果の悪い学生に対して担任が面談すること、科目別に冬期補修を増やすなど、きめ細かな指導方法を考えて取り入れていく。

３．評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念・目的、人材育成

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 教育理念・教育目的・育成人材像は明確に定められているか	④　３　２　１
② 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④　３　２　１
③ 教育理念・教育目的・育成人材像が生徒・保護者等に周知されているか	④　３　２　１

①課　題

ｉ教育理念・教育目的・育成人材像が生徒・保護者等に周知されているが、入学前より広く周知した方が良い。

②今後の改善方策

ｉオープンキャンパス、学校説明会、学校見学会等で参加者に周知を行う。

（２）学校運営

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 教育方針や教育目標等に沿った運営方針が策定されているか	④　３　２　１
② 運営方針に沿った事業計画（人事・財務・教務）が策定されているか	④　３　２　１
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④　３　２　１
④ 人事・給与に関する制度が整備してあり有効に機能しているか	④　３　２　１

⑤ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4　③　2　1
⑥ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④　3　2　1
⑦ 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	④　3　2　1

①課　題

ⅰ毎年教育目標に反映するよう学科の運営方針、教育方針を決定しているが、教職員周知方法を検討し目標達成への意識を高めるべきである。

ⅱ毎月実施している運営会議の情報が教職員の末端まで届いていないことがある。

ⅲコンプライアンスに関するマニュアル、制度があり、業界や地域社会の利害関係者からの意見の収集、分析、対応の仕組みができているが、その結果について自己点検は特に実施していない。・

②今後の改善方策

ⅰ年度始まりの教員会議で今年度の学科の運営方針、教育方針について討議する。

ⅱ運営会議の内容について運営会議直後の教員会議等で正確に伝達する。

ⅲ利害関係者からの苦情・要請等への対応を報告書にまとめ、その結果について自己点検を実施し、改善すべき点が明らかにする。

（３）教育活動

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④　3　2　1
② 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④　3　2　1
③ 教育理念・到達目標に沿った教育課程は体系的に編成しているか	④　3　2　1
④ 講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	④　3　2　1
⑤ 学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	④　3　2　1
⑥ 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④　3　2　1
⑦ キャリア教育を実施しているか	④　3　2　1
⑧ 成績評価･単位認定、進級･卒業判定の基準を明確化し、適切に運用しているか	④　3　2　1
⑨ 資格取得の指導体制が整備され、適切に運用されているのか	④　3　2　1
⑩ 人材育成目標の達成に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④　3　2　1
⑪ 関連分野における優れた教員を確保するための活動が行われているか	4　③　2　1
⑫ 先端的な知識・技能等を修得するための研修や教職員の指導力育成など資質向上の取組が行われているか	④　3　2　1
⑬ 教員の組織体制が整備され、適切に運用されているのか	4　③　2　1

①課　題

教職員の高齢化への対策及び若手育成への対応

②今後の改善方策

学科任せだけでなく学園全体のバックアップ体制の構築及び、教職員含めた、報告・連絡・相談が出来る職場作りが必要。

③特記事項

学科の特色についてホームページ等を活用して積極的にアピールしている。

（４）学修成果

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 就職率の向上が図られているか	４　③　２　１
② 資格取得率の向上が図られているか	４　③　２　１
③ 入学者に対する卒業率はどうか	４　③　２　１
④ 実習委託をする場合、その目的、要望事項等及びそれに対する評価項目の依頼を明確にしているか	④　３　２　１
⑤ インターンシップについて、依頼先の担当者と十分なコミュニケーションをとり、依頼した評価法どおりに評価されているか	④　３　２　１

①課　題

中途退学者をできる限り少なくする指導及び、国家試験合格（見込み）からの就職活動への迅速な対応と就職試験合格率の向上。

②今後の改善方策

学生個々に向き合った学習指導とキャリア相談室の積極的な利用と、就職試験対策についての指導を綿密に行う。

③特記事項

キャリアサポート室との連携を密にしながら即戦力に対応できるように取り組んでいる。
臨地実習前に、実務に近い臨地実習前技能到達度評価を取り入れ、学生がスムーズに臨地実習に対応できるように図ると共に、現場を通して医療人として認識させる指導を行った。

（５）学生支援

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 進路・就職に関する支援体制は整備され、学生や保護者に周知されているか	④　３　２　１
② 学生相談に関する体制は整備されているか	④　３　２　１
③ 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④　３　２　１
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④　３　２　１
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④　３　２　１
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	④　３　２　１
⑦ 保護者との連携は適切か	④　３　２　１
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	④　３　２　１
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	④　３　２　１
⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④　３　２　１

（６）教育環境

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	４　③　２　１
② 実習室の機器・備品は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④　３　２　１
③ 学校施設・機器備品等が定期的に管理・点検されているか	４　③　２　１
④ 図書室及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	④　３　２　１
⑤ 防災に対する体制は整備されているか	④　３　２　１

①課　題

生化学自動分析機等の医療機器の購入や維持管理に経費がかかるが、老朽化し実習に耐えない機器に対する迅速な対応は今後の教育の充実に大変重要である。

②今後の改善方策

新カリキュラムに対応した実習環境の整備と計画的な予算の執行。

③特記事項

現存の生理系検査機器や形態学的な実習機器で実施し、ある程度実施できた。

（７）学生の受入れ募集

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 高等学校に対する情報提供等の取組が行われているか	④　３　２　１
② 学生募集活動は、適正に行われているか	④　３　２　１
③ 学生納付金は妥当なものとなっているか、入学辞退者に適正な取扱いを行っているか	④　３　２　１
④ 生徒募集の効果と実績を検証しているか	４　③　２　１

①課　題

生徒募集活動に関する計画や内容の検討は年度前に行われているが、教職員全体での共有は不足している。

②今後の改善方策

当該年度の生徒募集活動に関する計画や内容についてはまとまり次第、運営会議の議案とし全教職員が共有できるように図るべきである。

（８）財務

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、やや不適切‥２、不適切‥１
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④　３　２　１
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④　３　２　１
③ 予算及び計画に基づき適正な執行管理を行っているか	④　３　２　１
④ 財務について会計監査が適切に行われているか	④　３　２　１
⑤ 財務情報の公開の体制準備はできているか	④　３　２　１

（９）法令等の遵守

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④　３　２　１
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④　３　２　１
③自己評価の実施と問題点改善に努めているか	４　③　２　１
④自己評価結果を公開しているか	④　３　２　１
⑤学校関係者評価を実施して評価結果を公開しているか	④　３　２　１

①課　題

ｉ自己評価の問題点について教職員の情報共有があまりできていないため改善が不十分である。

②今後の改善方策

ｉ自己評価の課題について教職員会議等で共有を図り改善に努力する。

（１０）社会貢献・地域貢献

評　価　項　目	適切‥４、ほぼ適切‥３、 やや不適切‥２、不適切‥１
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④　３　２　１
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	４　③　２　１

①課　題

ボランティア活動の理解度を高める。

②今後の改善方策

臨床検査技師会研究班の行う各種生理検査を湘央学園で行うことにより学生の意識レベル向上に役立つ。今年度も開催所定であったが新型コロナウイルスの影響で中止となったが、今後も積極的に行いたい。また、各種医学生物学関係の資格取得についても対応したい。

③特記事項

検査関係のNPO法人の活動を授業に取り組み紹介している。

オープンキャンパス ナビゲーター、客観的能力試験の被検者等に学生がボランティアとして協力している。